

令和8年10月8日

各位

会社名 株式会社アイビー化粧品
代表者名 代表取締役社長 白銀 浩二
(コード番号 4918 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 経営管理部 Manager
役職・氏名 中山 聖仁
電 話 03-6880-1201

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和8年8月5日に公表致しました業績予想を、下記の通り修正致しましたので、お知らせ致します。

記

令和9年3月期第2四半期累計期間 業績予想数値の修正(令和8年4月1日～令和8年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	1,380	150	150	120	16.37
今回発表予想(B)	1,480	210	210	160	24.07
増減額(B-A)	100	60	60	40	
増減率(%)	7.2	40.0	40.0	33.3	
(ご参考)前期実績 (令和8年3月期 第2 四半期累計期間)	1,384	207	208	184	29.28

令和9年3月期通期 業績予想数値の修正(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,800	330	330	250	34.30
今回発表予想(B)	2,900	390	390	290	44.66
増減額(B-A)	100	60	60	40	
増減率(%)	3.5	18.1	18.1	16.0	
(ご参考)前期実績 (令和8年3月期 通 期)	2,641	195	192	164	22.45

(注) 1株当たり中間純利益または1株当たり当期純利益の計算は、普通株式の期中平均株式数を計算しております。また、中間純利益または当期純利益からA種優先配当の会計期間に係る支払想定額を控除しております。

修正の理由

売上高の足元の推移は、令和8年6月に新製品「GABA メンテ」「ベーシックプラス デイミスト」「クール ボディ スプレー」を発売し、好評を博しましたが、猛暑の影響もあり、8月までの売上高は前事業年度並みで推移していました。一方、強化製品である美容液「レッドパワー セラム」は 16,980 セットと前年並み(前年同累計四半期実績 17,083 セット)の受注状況となりましたが、強化月である9月においては、猛暑が和らいだこともあり、既存レギュラー製品の受注が伸長しました。以上により、当第2四半期累計期間の売上高は、既存レギュラー製品が好調だったことが寄与し、増収となる見込みです。

売上原価率につきましては、中東情勢の緊迫化による原油価格の高騰および円安の影響により、取引先からの資材・原料の値上げ要請が続きました。そのため、売上原価に影響が出ており、原価率は高めの水準で推移しております。販売費及び一般管理費については、経費削減を継続しておりますが、前第2四半期累計期間並みとなる見込みです。

以上、近年取り組んでおります「収益力の向上」が徐々に成果を上げつつある状況を踏まえ、令和9年3月期第2四半期累計期間につきまして、業績予想を修正致します。通期予想につきましては、50周年記念の大型新製品(スキンケア)を予定しており、販売現場は活況となると見込んでおりますが、国際情勢が不安定であり、天災や天候不順も続いているため、当第2四半期累計期間の業績予想修正分だけをそのまま修正額としております。

具体的には、令和9年3月期第2四半期累計期間につきまして、営業利益予想 150 百万円を 210 百万円に、経常利益予想 150 百万円を 210 百万円に修正致します。中間純利益予想につきましては、120 百万円を 160 百万円に修正致します。

令和9年3月期通期予想につきましては、営業利益予想 330 百万円を 390 百万円に、経常利益予想 330 百万円を 390 百万円に修正致します。当期純利益予想につきましては、250 百万円を 290 百万円に修正致します。

(将来に関する記述等についての注意点)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上